

第6次常滑市総合計画策定に係る
各種団体ヒアリング結果

令和2年7月

常 滑 市

1 目的

第6次常滑市総合計画の策定に当たり、広範な意見や提案を計画づくりに反映できるよう、さまざまな分野で活動している市内の団体に、まちづくりに関する現況と課題、今後の在り方などについて意見を伺うために、各団体に関わる分野のテーマを中心にヒアリングを実施した。

2 実施期間

令和2年5月11日(月)～6月19日(金)

3 対象団体

	団体名	分野	担当課
1	とこなめ子育て支援協議会	子ども(子育て)	こども課
2	常滑市民生委員児童委員	福祉	福祉課
3	常滑市老人クラブ連合会	福祉(老人)	高齢介護課
4	常滑市手をつなぐ親の会	福祉(知的障がい者)	福祉課
5	常滑市身体障害者福祉協会	福祉(身体障がい者)	福祉課
6	公益社団法人シルバー人材センター	福祉(高齢者雇用)	高齢介護課
7	常滑市社会福祉協議会	福祉・保健	高齢介護課
8	とこなめ北・中部高齢者相談支援センター	福祉	高齢介護課
9	とこなめ南部高齢者相談支援センター	福祉	高齢介護課
10	常滑市食生活改善協議会	保健	健康推進課
11	常滑市文化協会	文化	生涯学習スポーツ課
12	常滑市体育協会	体育	生涯学習スポーツ課
13	一般社団法人とこなめ観光協会	観光	商工観光課
14	常滑商工会議所	商工業	商工観光課
15	とこなめ焼協同組合	やきもの	商工観光課
16	常滑陶磁器卸商業協同組合	やきもの	商工観光課
17	中部臨空都市まちづくり協議会	中部臨空都市	商工観光課
18	常滑青年会議所	青年	商工観光課
19	あいち知多農業協同組合	農業	農業水産課
20	常滑市水産振興会	水産業	農業水産課
21	530とこなめ	ごみ減量、環境	生活環境課
22	常滑市防災ボランティアリーダー会	防災	安全協働課
23	常滑市子どもを守る会連絡協議会	子ども(交通安全)	安全協働課
24	男女共同参画ネットとこなめ	女性	安全協働課
25	常滑国際交流協会	国際交流	安全協働課
26	常滑市ボランティア連絡協議会	地域	安全協働課
27	中部国際空港株式会社	空港	企画課
28	知多半島ケーブルネットワーク株式会社	情報・広報・地域	秘書広報課

※順不同

4 ヒアリング結果の概要

	区 分	課題・要望・提案
健康・医療・福祉	福祉・高齢者支援	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○病気・独居になってからの関係構築の難しさ(若いときから社会的な貯め(お金・家族・人のつながり)を作っておく必要性) ○認知症への対応(徘徊者保護件数の増、認知症を認めない家族の多さ、「若年性認知症」の実態把握・働きかけ不足) ○要介護者支援の見極めの難しさ(有資格者であるヘルパーと地域ボランティアに任せる内容の線引き、有償ボランティアの責任範囲) ○民生委員児童委員の担い手不足 ○介護以外での相談の増加(「8050問題」、「若年性認知症」) ○地域包括ケアシステム構築のため、「横断的に制度を見て、支援内容を提供できる」ようなまとめ役の必要性(複数分野の知識を持つ人材) ○全く身寄りのいない独居老人への対応(連帯保証人・緊急連絡先) <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の健康維持施策(ウォーキングできる公園・サイクリングロード) ○高齢者に対する多様な選択肢の提供、それによる地域とのつながり維持(ふれあいサロン・運動教室・老人クラブなど多様な選択肢から自分に合った社会参加の場所確保) ○高齢者相談支援センターの増設(2→3～4ヶ所)によるきめ細かな対応 ○認知症に対する理解を促す啓発(講習・チラシ以外の施策) ○高齢者の求めるものと現行支援制度のズレの解消(新たな支援制度の創設など)
	障がい者支援	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○障がい児の増加 ○障がい者の低賃金化の進行 ○精神障がい者への理解不足 ○市内・近隣の通所施設の不足 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊体験・ショートステイができる施設(「グループホーム」に入るための施設)、新たな入所施設の早急な検討 ○市内は持ち家率が高く、グループホームの新設よりヘルパーなどで対応するのが効果的 ○障がい者が市内で働く場の確保(下請け含む製造業の誘致、知的障がい者の就労に効果的な「農福連携事業」の誘致、公共施設駐車場の管理など) ○行政によるきっかけづくり(障がい者理解、ふれあいの場)
子育て支援	結婚・出産・子育て	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座・イベント開催時の子どもの預け先確保(お母さんへの支援の在り方) ○「地域」で子供を育てていく意識の希薄化(地域とのつながりの希薄化) ○学童保育の児童増加(大規模学童保育)

	区分	課題・要望・提案
子育て支援	結婚・出産・子育て	<p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアを活用した一時的な託児サービス ○学童保育施設の増設(箇所数を増やし、一箇所当たりの人数を減らす) ○子育て世代への食育の啓発(「食事は健康の源」という考え、授業や放課後での調理実習など機会の増加) ○市内への産科誘致
	学校教育	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路の改善(狭くて危険) ○交通立哨の人手不足 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通立哨の在り方検討(活動意義の周知、シルバーへの委託、役員の負担軽減)
	文化	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化会館の今後が見通せないことによる活動意欲の低下
教育・文化の振興	スポーツ	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動できる場所の減少(グラウンドなど) ○学校部活動の縮小による子供の運動時間の減少 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツができる環境づくり(転入者の増加につなげる) ○一流選手のプレーを子どもに見せる機会の提供(指導教室の開催など) ○各種スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団・市内スポーツ団体)との交流、行政を交えた意見交換 ○運動による常滑市民の健康増進
	防災	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染症対策を踏まえた「避難所の在り方」検討 ○市民・職員の防災意識の低さ、防災に関する人材不足(リーダー・ボランティアコーディネーター)、女性の講座参加の少なさ ○防災に関する情報の周知徹底(倉庫内の物資、消火器・消火栓の使い方・点検など) ○地域のつながりの希薄化(災害時に共助できるか) ○福祉避難所の開所(家族と過ごせる専用の場所として小学校の1教室を開放など) <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災拠点としての民間建物利用など、民間との連携(老朽化した公共施設ではなく、ホテル・民泊事業者の空き部屋など) ○人材育成の実施(ボランティアコーディネーターの養成講座など) ○関係機関による意見交換の場づくり ○行政による町内会への加入促進 ○防災意識の向上(災害経験者の講演会、家具固定等の啓発、学校単位の炊き出し訓練、こどもの訓練参加)
防災・地域安全		

	区 分	課題・要望・提案
防災・地域安全	防災	<p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「避難手段」、「避難経路」、「避難場所」の市民への周知徹底 ○災害時のボランティアセンターの複数拠点化(全市域をカバー) ○福祉施設との連携強化(福祉避難所への滞りない誘導) ○地区の特色に合った研修・訓練の開催、地区防災計画の作成 ○福祉避難所の整備(開設・運営マニュアル、受入体制、訓練など)
環境の保全・衛生	ごみ減量化・環境保全	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者にとってごみの分別が困難 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「家庭ごみ一人当たりの排出量の少なさ」県内1位を目指した啓発活動の実施 ○行政との協働による取組実施(親子イベント、SDGs の普及・研修ツアーなど)
都市環境の整備	公共交通	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内バス(北部バス・知多バス)が不便(便数・ルート) ○高齢者の交通手段不足(知多バス補助は懐疑的、「バスを使わない」習慣をどう解決するか) <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の移動手段の確保(自宅～目的地を結ぶ移動手段、地元企業とタイアップしたコミュニティバス・乗合タクシーなど)
	市街地	<p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育・研究機関(大学など)、寮などを含めた施設の誘致 ○南部に人が集まる仕組みづくり ○空き家の撤去(防犯の観点)
産業・観光の振興	農業・漁業	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○農家の減少(高齢化、独身、後継ぎ不在、自作農の減少、大型経営へのシフト) ○常滑独自ブランドの農畜産物の創出 ○地産地消の拡大(制度作り・工夫) ○農福連携は検討しているもののハードルが高い ○各産業(やきもの、農業、漁業)の連携不足 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○担い手に対する結婚支援(婚活イベントの開催など) ○行政による積極的な農畜産物・海産物のプロモーション(広報、ふるさと納税返礼品、イオン・コストコでの販売) ○地産地消に向けた消費戦略(病院食・給食での活用) ○相乗効果的な魅力の創出(良いものを個々でなくつなげていく)

	区分	課題・要望・提案
産業・観光の振興	やきもの	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○販路拡大(ネット販売・輸出の重要性) ○やきもの業界の弱体化(高齢化、廃業、作り手不足)とそれによる産地全体の生産量の減(中国からの大量発注に対応できない) ○セラモールのアクセスの悪さ ○他市に比べやきもの研究機関が脆弱 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○常滑の顔としてやきもの業界のバックアップ ○やきもの関連の人材育成(「業」として成り立つ育成、作り手の新規雇用補助、外部から人を呼び込むなど) ○宜興市との連携強化(両産地を紹介するサイトの共同運営、技術交流、現地でのアンテナショップ設置など)による中国での販路拡大 ○若手の作陶環境整備(廃工場の活用) ○子供たちへの意識付け(小学校の副読本・朝顔の植木鉢など、学校での活用・やきもの良さや誇りを伝える教育) ○陶芸研究所の研修生の常滑とのつながり強化 ○ネット販売の強化(常滑焼の歴史、作り手などのモノの背景の情報発信、生活のなかでの利用提案など提供できるサイト)
	観光	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光ルート設定における広域連携の難しさ(各自治体による予算・観光ビジョンの差) ○市内店舗におけるデジタル化の差(キャッシュレス化、多言語化、情報発信・提供など、差により横展開できない) ○観光コンテンツの磨き上げ(魅力あるスポットの創出) ○やきもの散歩道(陶磁器会館周辺含む)の環境改善(安全に歩けない、歩行者天国など人が来やすい環境づくり) <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャッシュレス決済の普及 ○PRのための情報発信に長けた人材の育成 ○観光地の整備(案内標識、掲示板、ウェルカムボード) ○常滑駅周辺の発展(商業施設の誘致)による誘客 ○さらなる官民連携(事業者、協会、行政)による情報発信の強化 ○観光客にとって親切なまちづくり、ムードの醸成 ○インバウンドに「常滑に寄らないと損」と思ってもらえるような施策(食べ物・五感に訴えるものなど)
	商業・工業	<p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規事業者への経済的支援(例:税の減免)

	区分	課題・要望・提案
産業・観光の振興	商業・工業	○こどもが地域の飲食・商売と関わる機会づくり(この地域で住んで働く意識づくり)、「働く方と語る会」の実施・好事例の共有化
	雇用・勤労	<提案> ○若者と様々な業種の企業マッチングを実施するイベントの開催
	中部臨空都市	<課題> ○地域に貢献・愛される活動ができる経営者の育成 ○りんくう地区への誘導不足(案内板・サイン) <要望・提案> ○事業者同士の連携・情報発信 ○りんくうインターから降りた場所での案内板設置(どの方向にどんな施設があるか)
	空港との連携	<課題> ○ビジネスによる空港利用増を目指した、国際会議・国際展示会の誘致 ○観光業、インバウンドに特化することの恩恵と脆弱性(空港依存) <要望・提案> ○空港従業員の居住地確保や生活環境改善、子育て支援 ○二本目滑走路の実現に向けた取組み ○空港島・りんくう地区・市街地を含めた交通インフラ・住宅地整備の検討 ○空港島を中心とした「スーパーシティ構想」の積極的支援 ○観光客にとって魅力あるまちづくり(空港と市の魅力の二軸)
協働のまちづくりと行政運営	国際交流・多文化共生	<要望・提案> ○宜興市との明確な意図を持った交流 ○国際交流に寄与できる人材育成(「空港は世界を相手に仕事ができる場所」として子供にアピール、オープンマインド、英語)
	男女共同	<課題> ○昔に比べ男女共同意識が変化してるものの、さらなる啓発が必要 ○LGBTへの対応 <要望・提案> ○きめこまやかな行動計画、または総合計画での重点的な位置づけ ○市民への啓発(学習会、公開講座など)
	協働によるまちづくり	<課題> ○地域の行事に人が集まらない ○地域のつながりの希薄化、町内会加入者の減少(独居老人、忙しい現役世代) ○ボランティア人材の不足(定年延長、活動の個人化) <要望・提案> ○学生を呼び込み、若い力で活性化 ○民間意見を反映できる体制づくり ○行政との連携強化、協働推進(県・国に繋いで補助金による団体活動支援など)

	区 分	課題・要望・提案
協働のまちづくりと行政運営	協働によるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり助成金の拡充 ○行政によるボランティアのきっかけづくり(例:日本語教室ボランティア募集のようなピンポイントな取組み) ○子供へのボランティア精神の啓発 ○行政を交えた定期的な意見交換の場づくり ○民間へ任せられるものは任せる
	情報・広報	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケーブルテレビ加入意義の希薄化 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民の声やその業界の人の声を取り入れた市のデジタル化推進 ○通信インフラを活用した行政支援(有事の際の学校授業のテレビ放送化、動画の学校 HP 掲示・YouTube 投稿など学校との連携) ○通信インフラを活用したまちづくり、人のつながり支援(空港・りんくうエリアと市全体をつなげる、地域の実情を広める)
	公共施設	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設のバリアフリー化 ○文化会館の駐車場所の確保 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化会館は当面存続を希望。複合施設化の際は、500 席規模のホールを希望。市民の声を聞くための検討委員会の設置を要望 ○グラウンドにネットを張るなどの整備 ○老朽化した小中学校の体育館及び市体育館の修繕 ○男女共同参画・多様性をアピールできる場としての新庁舎(授乳室・トイレなど)
	行政運営	<p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○行き当たりばったりのまちづくりでなく、先を見据えたプランづくり
	総合計画	<p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「住んで良かった」「働いてよかった」、子供から大人まで人生の足跡を常滑に残せるまちづくり(市の基本は「住みやすさ」) ○住民が多く、若い人が魅力を感じるまちづくり
その他	団体活動	<p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○会員・担い手不足(メンバーの高齢化、若い世代へのアプローチ、活動の個人化、ネットによる情報入手のしやすさ)と、それによる活動の停滞(催し物・新規取組の実施が困難) <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動への理解、参加を促す周知促進(設立の経緯・きっかけ) ○NPO 法人設立のための事務局(拠点)の整備(障がい者団体) ○今後の事業展開拡充のための補助額の増額

<参考>新型コロナウイルス感染症の影響に関する意見

分野	現状・課題・要望・提案
福祉・ 高齢者支援	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防事業ができず、認知症・転倒の増加を危惧 ○高齢者自身が仕事を控える傾向。また、高齢者雇用の発注自体(空港・ホテル・飲食など)の停止 ○コロナによる生活困窮者の増加(今後も増加予想、派遣・空港関連) <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○家でできる介護予防(在宅でできるスマイルポイント事業の実施)
商業・工業	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○今の環境に対応していけるか(助成金は一時的、融資は返済がある) ○外で集まる機会の減少に伴う影響と、その対策(すぐには元に戻らない来店客、マイナス分をどのように埋めるか) ○飲食業 <ul style="list-style-type: none"> ・3月から売上減(祭りの中止、卒業式・入学式の縮小など)、営業再開後も客足少なく心配な状況 ・今後を見据えた販売チャンネルの拡大・ネット通販導入の検討 ○ホテル業 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言解除後も宿泊客戻らず、稼働率 10%台 ・夏休み短縮により、今後の売上も通常時の1/3程度と予測 ・融資制度を活用し何とか耐えているが、非常に厳しく、観光客が戻るまで2~3年かかると想定 ・新たな事業形態の展開を検討(料理デリバリーなど、市内販売経路の確保) ○商業 <ul style="list-style-type: none"> ・衣料部門、トラベル関係、ビュッフェ形式のレストランは厳しい状況 ・レンタカー利用皆無 ○工業・建設業 <ul style="list-style-type: none"> ・売上の減少、6月上旬では週に1~2日休業措置 ・建設業では部品納入の遅れなどの影響、今後の影響を懸念 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○不動産賃料への支援、感染症対策の紹介(対面形式・接触部分への対策)、空港島を含めた市内事業者の連携による情報共有 ○地域の絆をポイントとしたサービス(デリバリー・テイクアウト×他業種(タクシー・駐車場業界)など)
やきもの	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○セントレアから輸送できず輸出減、海外バイヤー(日本バイヤー以上の購買規模)も来ず、実店舗休業により卸も止まり、業界全体に影響が波及 ○アフターコロナでの「無駄を省く」風潮の定着によるやきものへの影響 <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○アフターコロナでのチャンス(海外・観光客への販促、「見る・買う・体験する」)

分野	現状・課題・要望・提案
観光	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○人を呼び込むための観光地の安心・安全の確保 ○観光・インバウンド特化の危険性(空港が止まると影響が甚大) ○市内団体の一致団結した行動(マルシェなど) <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○アフターコロナを見据えた営業活動の強化(今営業活動をしている地域が勝つ) ○観光協会による観光客の呼び込み ○空港回復までに新たな「常滑らしいもの」探し
空港との連携・国際交流	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○空港では国際線を中心に運航便数の激減、旅客・商業施設の売り上げが激減、それによる人手余り ○アフターコロナの取組の実施(安心して空港を利用してもらうため「新しい空港利用の11ポイント」の周知) ○県境をまたぐ移動自粛が緩和され、国内線が戻ってくることに期待。国際線の見通しは不明 ○出入国制限による国際交流の形態の見直し <p><要望・提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業継続に向けた支援(「買ったコ!!とこめし応援券」事業など)、協力金・給付金などの早期支給、人手余りの改善(グランドハンドリング事業の継続支援) ○地域再活性化策「GoTo キャンペーン」や愛知県における観光支援策を踏まえた、地域一丸の経済活動再活性化への取組み
農業・漁業	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光地化した農業地では観光客減で減収 ○イベント中止などで花きの売上減少 ○コロナ禍で農業希望者が増加したものの、後継者が欲しいという農家の希望とマッチせず(半年や一年の短期雇用希望) ○常滑漁港の潮干狩り再開後はそれなりの客足
情報・広報	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○取材対象の減少(学校行事など) ○ステイホームによる通信インフラの重要性が認知(情報・人とつながる) ○コロナ禍での通信サービスの在り方(学校授業の配信試みるも連携・協力体制から実現できず)
防災	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染症対策を踏まえた「避難所の在り方」検討
団体活動	<p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○人が集まる取組の是非、安全に人が集まる場所の確保 ○発表会の中止や練習ができず、活動意欲が低下 ○交通立哨に必要な道具の使い回しについての対策が必要

分野	現状・課題・要望・提案
その他	<p data-bbox="371 253 555 286"><要望・提案></p> <ul data-bbox="371 300 1189 380" style="list-style-type: none"><li data-bbox="371 300 845 333">○新たな生活様式を加味した総合計画<li data-bbox="371 347 1189 380">○官民連携による新しい価値観・生活様式にあったサービスの提供